

森林環境教育推進事業

森林環境教育事例集

令和5年度



鹿児島県森林技術総合センター

森林・林業体験学習事例集

[森林環境教育推進事業]

目 次

◆令和5年度 学校別体験学習事例

	学 校		ページ
事例………… 1	鹿児島市立	玉江小学校	…… 1
事例………… 2	枕崎市立	枕崎小学校	…… 3
事例………… 3	南さつま市立	万世小学校	…… 5
事例………… 4	薩摩川内市立	永利小学校	…… 7
事例………… 5	出水市立	江内中学校	…… 9
事例………… 6	さつま町立	永野小学校	……11
事例………… 7	始良市立	始良小学校	……13
事例………… 8	始良市立	西浦小学校	……15
事例………… 9	霧島市立	木原中学校	……17
事例…………10	伊佐市立	本城小学校	……19
事例…………11	鹿屋市立	笠野原小学校	……21
事例…………12	錦江町立	大原小学校	……23
事例…………13	大崎町立	中沖小学校	……25
事例…………14	曾於市立	岩南小学校	……27
事例…………15	西之表市立	上西小学校	……29
事例…………16	奄美市立	手花部小学校	……31
事例…………17	鹿児島県立	加治木工業高等学校	……33
事例…………18	鹿児島県立	薩南工業高等学校	……34
事例…………19	鹿児島県立	串木野高等学校	……35
事例…………20	鹿児島県立	種子島高等学校	……36
◆その他資料			
	・森林環境教育に関する問い合わせ先		……37

鹿児島市立 玉江小学校

1 学習・体験のねらい

森林環境の多様性や森林の働き、森林を守り育てる林業の役割などに関する知識を、都市近郊林に位置する「学校林」において五感で感じながら体験してもらうことで、森林の重要性への理解を深めてもらう。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①樹木学習・木工クラブ ②しいたけ駒打体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年11月13日(月)	8:20～12:00	学校林	4年生	123	6	129
②	令和6年2月13日(火)	8:30～12:15	学校林	3年生	125	5	130
	合 計	(延べ人数)			248	11	259

5 学習・体験の進め方(スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	森林の果たす役割や木材の特性等について学習した後、葉っぱの観察による樹木分類と、拾ったどんぐりを使った木工クラブを行った。	工具による怪我に注意	センター1人 振興局 2人
②	森林の果たす役割やきのこの種類、原木しいたけの栽培方法について学習した後、しいたけ種駒打ち体験を行い、森林からの恵みである木材と特用林産物の生産について理解を深めた。	ドリル等の工具による怪我。ほだ木の取扱に注意	指導員 1人 振興局 4人

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	間伐テープ, 筆記用具, 工作用具(キリ, 砥石)	なし
②	原木, 種ごま, ドリル, トンカチ, 立て込み資材, 発電機	なし

7 ふり返り(担当者の意見, 学校へのアンケート結果等から抜粋)

・「学校林」を活用した活動ができて、子供達の森林への興味を醸成することができた。
 ・植物の葉っぱの形態から分類を行うことができて勉強になった。
 ・他のきのこについても知りたいと思った。
 ・森林の中で、どんぐり採取や木の勉強ができて楽しかった。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【森林学習】



【樹木観察】



【樹木学習】



【樹木名当て学習】



【森林学習】



【学校林活動状況】



【しいたけ駒打ち体験】



【しいたけ駒打ち体験】

令和5年度森林環境教育推進事業

枕崎市立 枕崎小学校

1 学習のねらい

森林・林業の重要性と地域において林業が果たす役割についての学習と体験活動を通じ、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業や森林の意義について理解を深める。

2 学習の位置づけ

社会科、総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①森林学習 ②木工教室 ③薪工場見学・植樹体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年9月14日(木)	10:45～11:30	多目的室	4年生	57	2	59
②	令和5年10月16日(月)	8:50～10:35 10:45～12:20	多目的室	4年生	57	2	59
③	令和5年11月20日(月)	8:45～12:25	校外	4年生	57	2	59
	合 計	(延べ人数)			171	6	177

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	森林技術総合センター、蒲生八幡神社(蒲生の大クス)を訪問し、森林の持つ生物多様性など身近なテーマに関する森林環境について学習する。		校長 1
②	県産木材を利用した、「本立て」づくりによる木とのふれあいを通じて、木工工作の楽しさと木のぬくもりについて学習する	のこぎり、金槌の取扱について注意喚起	校長 4
③	伐採現場の見学及び苗木の植栽体験を通じて、林業の作業内容や木材の循環利用等について学習する。	鋸の取扱について注意喚起	校長 2 林業専任 3

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	パソコン、資料	スクリーン、プロジェクター
②	材料(スギ材)、のこぎり、さしがね、金槌、紙やすり、皿(釘入れ)、鉛筆、コードリール、設計図面、ブルーシート	作業台(椅子など)
③	貸切バス、山鋸、軍手、ヘルメット、救急箱、拡声器、資料	雨具(傘、雨合羽、雨靴)、マスク

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

- ・地域の特産物である鰯節が森林恩恵を受けていることを伝えることができた。
- ・準備や関係先との調整をすべてしてもらったので助かった。
- ・普段できない学習を工夫して行い、児童にとって大変貴重な体験となった。

7 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【①森林・林業についての学習】



【①森林・林業についての学習】



【②木工教室】



【②木工教室】



【③新工場見学】



【③新工場見学】



【③スギ苗植栽体験】



【③スギ苗植栽体験】

令和5年度森林環境教育推進事業
南さつま市立 万世小学校

1 学習のねらい

森林・林業の重要性と地域において林業が果たす役割についての学習と体験活動を通じ、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業や森林の意義について理解を深める。

2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①木工教室 ②食育学習 ③しいたけ駒打ち

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和6年1月22日(月)	9:40~12:20	多目的室	6年生	26	1	27
②	令和6年1月22日(月)	12:40~12:50	会議室	全学年	170	18	188
③	令和5年10月16日(月)	8:50~10:35	校庭	4年生	31	3	34
合 計 (延べ人数)					227	22	249

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	県産材を利用した、「椅子」づくりによる木とのふれあいを通じて、木工工作の楽しさと木のぬくもりについて学習する。	のこぎり、金槌の取扱について注意喚起	振興局 4 市職員 3
②	オンラインで校内の会議室から各教室へ給食の食材として使われている、森の恵みの「原木しいたけ」や「たけのこ」がどのようにして生産され食卓に並ぶか配信。		振興局 1
③	森の恵みである原木しいたけについて学習し、駒打ちの体験を行う。	ドリルの取扱について注意喚起	振興局 2

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	材料(スギ材)、のこぎり、さしがね、金槌、紙やすり、皿(釘入れ)、鉛筆、コードリール、設計図面、ブルーシート、インパクトドライバー	作業台(椅子)
②	プレゼンデータ	パソコン
③	原木、種駒、ドリル、ドリルきり、金槌、コードリール、種駒容器、杭、チョーク、資料	

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

- ・日頃経験できない活動を行うことができた。
- ・「きのこ」は野菜と思っていた児童が多く菌類の仲間であることに気付くことができた。
- ・食への興味、生産(育てる)することへの興味が深まった。

7 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【①木工教室】



【①木工教室】



【①木工教室】



【②食育学習】



【②食育学習】



【③椎茸駒打ち】



【③椎茸駒打ち】



【③椎茸駒打ち】

令和5年度森林環境教育推進事業

薩摩川内市立 永利小学校

1 学習のねらい

未来を担う子どもたちに対して、森林・林業の果たす役割や重要性について理解を深め、将来にわたって森林を守り育てる意識の醸成を図ることを目的に、小中学校の児童生徒に対し、森林・林業や森林環境保全に関する学習・体験活動を行う。

2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①森林学習 ②木工(木柵)体験 ③伐採現場見学 ④モルック体験 ⑤椎茸駒打ち体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年7月5日(水)	8:50~12:25	学校体育館	5	40	1	41
②	令和5年7月6日(木)	同上	同上	同上	40	1	41
③	令和5年10月24日(火)	8:50~11:30	伐採現場	5	80	4	84
④	令和5年11月27日(月)	8:50~12:25	校庭	5	80	2	82
⑤	令和6年1月25日(木)	8:50~12:25	校庭	5	80	2	82
合 計					(延べ人数)		
					320	10	330

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	森林のはたらきや山の仕事「林業」についての説明及び伐採作業等の見学を行うことにより、森林・林業について学ぶ。	特になし	文庁・振興局 2 森林・林業学習指導員 1
②	木製椅子を自ら制作することにより、木のぬくもりや木材の良さを体験する。	怪我に注意	文庁・振興局 6 森林・林業学習指導員 1
④	山から生み出される木材から、制作された木製のピンを倒す「モルック」体験を通して、木材の良さに触れる。	怪我に注意	文庁・振興局 4 森林・林業学習指導員 1
⑤	きのこの生態やしいたけの育て方を学習し、クヌギの原木にドリルで穴を開けて種駒の打ち込みを行う。二夏経過した秋に収穫。	怪我に注意	文庁・振興局 3

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	説明資料	なし
②	説明資料 木柵作成キット, 釘, 金槌	ブルーシート
③	説明資料 林業機械, バス	なし
④	説明資料 モルック資材	なし
⑤	説明資料 しいたけ原木, 種駒, ドリル, 金槌	延長コード

7 ふり返り(担当者の意見, 学校へのアンケート結果等から抜粋)

・今回の体験・学習を通して、もっと森林の役割や森林のすごさを調べていきたい。

森林学習、森林・林業体験活動の状況



【①森林学習】



【②木工体験 椅子制作】



【②木工体験 椅子制作】



【③伐採現場見学】



【③薪割り工場見学】



【④モルック体験】



【④モルック体験】



【⑤しいたけ駒打ち体験】

令和5年度森林環境教育推進事業

出水市立 江内中学校

1 学習のねらい

森林の働きや木材が循環する資材であることの重要性や役割を認識し、木材を利用することや再造林を行う意義について、森林学習や伐採箇所見学、植樹・木工体験等を通じて理解を深める。

2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①木工体験 ②森林学習 ③伐採箇所見学、植樹体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和6年1月23日(火)	14:00～16:00	江内中学校体育館	2年生	9	2	11
②	令和6年1月26日(金)	8:45～9:45	江内中学校教室内	2年生	10	1	11
③	令和6年1月26日(金)	10:00～12:00	出水市江内地区内山	2年生	10	1	11
合 計 (延べ人数)					29	4	33

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	森林の働きやかごしま材の利用効果等を学習した後、木製机、木製椅子を作成し、木にふれあいながら木工についての学習を実施した。	木槌の使用によるケガに注意	教員 1 森林・林業学習指導員 1
②	「森林のはたらき」や「林業という仕事」、「SDGsと森林・林業の関係」について学習を行った。	—	教員 1 森林・林業学習指導員 1
③	間伐施業地において伐採作業の見学や丸太の引き出し作業等の体験を行った後、伐採跡地に移動し、クヌギの植樹作業を行った。	伐採現場での足下や切り株等に注意 スコップや山鉞によるケガに注意	

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	資料11部、木製机、木製椅子資材一式	なし
②	資料11部	なし
③	借上バス1台、軍手11組、クヌギ苗60本、スコップ2本、山鉞10本、救急箱	長靴

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

・職場体験学習も控えており、その前にこのような活動が出来て良かった。
・林業については、なかなか機会がなかったので、生徒も興味・関心をもって取り組んでいました。

7 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【①木工体験】



【①木工体験】



【①木工体験】



【②森林学習】



【③伐採箇所見学】



【③伐採箇所見学】



【③植樹体験】



【③植樹体験】

令和5年度森林環境教育推進事業
さつま町立 永野小学校

1 学習のねらい

木工体験による木とのふれあいや、森林学習を通じて森林の公益的機能や地域の林業の役割を学ぶとともに、自分たちが自然の中で多様な生物と共存していることを理解する。

2 学習の位置づけ

図工・社会の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①木工(イス製作)体験活動(3・4年生) ②森林学習(5年生)

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年11月15日(水)	9:35~11:15	永野小学校図工室	3・4年生	3	3	6
②	令和6年2月22日(木)	10:30~11:45	永野小学校5年生教室	5年生	2	1	3
合 計 (延べ人数)					5	4	9

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	森の働きや木材の特性等を学習した後、木製椅子を作成し、木の特性などについて学ぶ。	工具による怪我に注意する	支庁・振興局1 市町村1 森林・林業学習指導員1
②	5年生社会の林業について学ぶ。また、併せて森の働きについて学ぶ。	—	支庁・振興局1

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	資料5部、椅子材料、金槌、救急箱	なし
②	パソコン(パワーポイント)、実験用資材	なし

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

(学校アンケート結果)
 ・教科書に準じた内容で学習が組み立てられていた。
 ・実験や提示資料が分かりやすかった。
 ・高学年はもう少し詳しく、専門的な内容でも理解できるのではないかと思われる。
 (担当意見)
 ・木工教室や森林学習を通じて「木を切ってみたい」「森にはどんな種類のきのこがあるのか、どんな生き物がいるのか知りたい」など森林に興味をもつきっかけになった。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【①木工体験活動（3・4年生）】



【①木工体験活動（3・4年生）】



【①木工体験活動（3・4年生）】



【①木工体験活動（3・4年生）】



【②森林学習（5年生）】



【②森林学習（5年生）】

始良市立 始良小学校

1 学習・体験のねらい

森林の持つ公益的機能の重要性や木材を利用することの意義について、森林学習や木材加工体験を通じて理解を深めてもらう。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①森林学習

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和6年2月22日(木)	14:10~14:55	始良小学校	5年生	125名	3名	128名
	合 計		(延べ人数)		125名	3名	128名

5 学習・体験の進め方(スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	<p>体育館において、森林のはたらきについて学習を実施。また、スギ・ヒノキの枝葉を準備し、見て触れてそれぞれの違いを確認してもらう。</p> <p>最後に木製コースターの材料を配布し、紙やすりで表面仕上げや、好きな絵やイラストを描く等オリジナルコースター作成を指導。</p>	<p>資料による説明、紙やすり使用時にけがをしないように指導</p>	<p>振興局 2名</p>

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	<p>資料135部、スギ・ヒノキ枝葉(2組)コースター250枚、紙やすり、パソコン、プロジェクター、延長コード</p>	<p>スクリーン</p>

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

・市街地周辺の大規模校であり、木工体験活動等の提案を行ったが、カリキュラムの関係により屋内での森林学習を実施することとなった。

・児童からは「きのこについて知りたい」「森林に生きる動物について知りたい」等の声が寄せられた。

・先生からは、「クイズなど活動できる内容があれば楽しみながら学習できるのではないか」との意見をいただいた。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【森林学習（森林のはたらき）】



【森林学習（森林のはたらき）】



【森林学習（森林のはたらき）】



【森林学習（森林のはたらき）】



【森林学習（スキ・ヒノキの違い）】



【森林学習（スキ・ヒノキの違い）】

始良市立 西浦小学校

1 学習・体験のねらい

森林の持つ公益的機能の重要性や木材を利用することの意義について、森林学習や木材体験活動を通じて理解を深めてもらう。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

① 森林学習、木工体験活動

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年11月8日(水)	9:40~11:20	西浦小学校	1~6年生	31名	9名	40名
	合 計		(延べ人数)		31名	9名	40名

5 学習・体験の進め方(スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	<p>図工室において、森林のはたらきや木材の特性等についての学習を実施。</p> <p>その後、1~2年生、3~6年生に分かれ、それぞれ指導者の指導の下、1~2年生が木製コースター、3~6年生が木製ボックスを作成。</p>	<p>工具によるけがに注意するよう指導</p>	<p>振興局 4名</p>

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	<p>資料40部、木製コースター40枚、木製ボックス18セット、紙やすり、釘、金槌、木工用ボンド、水性ペン</p>	<p>なし</p>

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

・児童から「木製遊具を作ってみたい」、「山の仕事を見てみたい」、「きのこについて知りたい」等の声が寄せられた。

・先生から「製作方法の手順を映像もしくは画像で示したものが欲しかった」、「低学年への指導時は、わかりやすい言葉でして欲しい」との意見をいただいた。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【森林学習(木材の特性等)】



【木工体験活動(木製コースター)】



【木工体験活動(木製コースター)】



【木工体験活動(木製ボックス)】



【木工体験活動(木製コースター)】



【木工体験活動(製作状況)】



【木工体験活動】



【木工体験活動】

令和5年度森林環境教育推進事業
霧島市立 木原中学校

1 学習・体験のねらい

森林の持つ公益的機能の重要性や木材が循環する資材であること、木材を利用することの意義について、伐採現場等見学や森林学習、木工教室を通じて理解を深める。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①伐採現場及び木材市場見学 ②木材加工施設見学 ③森林学習、木工教室

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年7月6日(木)	9:00～10:00	森林組合伐採現場 ■木材流通センター	中学1～3年生	24名	4名	28名
		11:00～12:00					
②	令和5年7月12日(水)	14:00～15:00	岡南木材(株)	中学1～3年生	24名	4名	28名
③	令和5年7月14日(金)	10:30～12:00	木原小中学校	中学1～3年生	24名	4名	28名
合 計 (延べ人数)					72名	12名	84名

5 学習・体験の進め方(スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	始良東部森林組合の伐採現場において、伐倒から玉伐り、造材を見学。年輪の教え方体験を実施。高性能林業機械(プロセッサ)の見学。隼人木材流通センターにおいて、材の種類や選別方法などを見学。	ヘルメットの着用 立入禁止区域の遵守	5人
②	岡南木材(株)霧島プレカット工場において、木材が加工され製品となる工程を見学。岡南木材(株)職員による講義が実施された。	ヘルメットの着用 立入禁止区域の遵守	4人
③	学校体育館において、森林学習、森林に関するクイズ、木工教室(コースター作製)を実施。森林学習においては、地元で林業に携わっている事業体代表者に地元の林業の歴史等について講話をいただいた。	サンドペーパーでの仕上げ時に負傷しないよう注意喚起	3人

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	森林学習用リーフレット(林業機械、木材の加工流通)、ヘルメット、ワイヤレスマイク	マスク、軍手
②	森林学習用リーフレット(木材の加工流通)、ヘルメット	マスク、軍手
③	コースター(100枚)、サンドペーパー、あて木(サンドペーパー用)、ホスカ、ブルーシート、森林学習用リーフレット、クイズ解答用紙、木工教室用作製手順書	マスク、軍手、ワイヤレスマイク

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

・学校の要望として、木の伐採から加工流通まで一連の流れを見学できるような学習をしたいとの話しがあったため、伐採現場、木材市場、木材加工施設の見学及び木工体験ができるようカリキュラムを設定した。
生徒達は興味を持って伐採現場や施設の見学、木工教室に取り組んでいた。
・生徒からは「伐採を初めて見たが、迫力があった」、「木で家を作りたくなった」、「木を植えてみたい」、「森を守るにはどうすればいいのか」等たくさんの声があった。
・先生からは「木材の一連の流れが分かり勉強になった」、「実際に見ることでより深い学びになった」、「飽きのこない内容でありがたかった」、「暑い時期の見学であったため疲れている生徒も見られた」等の意見をいただいた。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【伐採現場見学】



【高性能林業機械見学】



【木材市場見学】



【木材加工施設見学】



【木材加工施設での講義】



【森林学習、クイズ】



【地元事業体による講話】



【木工教室(コースター作製)】

伊佐市立 本城小学校

1 学習・体験のねらい

高性能林業機械を使用している伐採現場見学，地元産材を使用した木立て作成の木工体験活動及び森林からの恵みである原木しいたけ栽培に係る椎茸駒打ちを通じ，森林の役割や循環利用及び地域林業についての理解を深める。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

① 伐採現場見学 ② 木工体験 ③ しいたけ駒打ち

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年12月6日(水)	10:00～11:40	森林組合伐採現場	5年生	12	2	14
②	令和6年1月22日(月)	9:40～12:20	多目的室	6年生	6	2	8
③	令和6年2月10日(土)	8:25～10:05	校庭	2・5年生	24	4	28
合 計 (延べ人数)					42	8	50

5 学習・体験の進め方(スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	伊佐森林組合の伐採現場で作業班員によりチェーンソー及びフェラパンチャザウルスによるスギ伐倒の実演及びプロセッサによる伐倒木の枝払い及び採材の実演。	作業区域内立入禁止区域の遵守	4人
②	地元産材に触れ，森林・林業の理解を深めるため，伊佐地域産の杉板で木立て作成の体験活動を実施。	電動工具や刃物の取扱について注意喚起	2人
③	森林からの恵みである原木しいたけの栽培方法を学習し，しいたけ駒打ち体験を実施。	ドリルの取扱について注意喚起	5人

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	森林学習用リーフレット(森林の役割や林業)	防寒着，軍手
②	森林学習用リーフレット(森林の役割や林業)，材料(スギ材)，さしがね，メジャー，電動サンダ，紙やすり，ステン釘，鉛筆，コードリール，ブルーシート	軍手，コードリール，作業用机・椅子
③	森林学習用リーフレット(森林の役割や林業)，原木，種駒，ドリル，金槌，コードリール，種駒容器，ブルーシート，チョーク	防寒着，軍手

7 振り返り(担当者の意見，学校へのアンケート結果等から抜粋)

・初めての業務でスムーズな連絡調整ができず，関係者の協力等によりなんとか目標を達成できた。
 (先生方から)
 ・限られた時間内での効率的な進め方(グループ分け及び指導者の配置)がよかった。子供たちが日頃経験できない貴重な体験ができてよかった。今後も継続した活動をお願いしたい。子供たちと楽しく制作できたことに感謝しています。
 (子供たちから)
 ・ドリルを使うことが最初怖かったが，最後には面白くなった。楽しかったので，またやりたい。手伝ってもらった方々へ感謝している。早くキノコを食べたい。森林の仕事は，ほかにとんなものがあるか知りたい。椎茸の駒打ちは，楽しかった。伊佐にある木だけでなく，他にある木も知りたい。もっと森林や林業を知りたい。林業で使う機械に興味があります。森に住んでいる生き物に興味があります。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【伐採現場見学】



【伐採現場見学】



【伐採現場見学】



【木工体験(木立て制作)】



【木工体験(木立て制作)】



【しいたけ駒打ち】



【しいたけ駒打ち】



【しいたけ駒打ち】

鹿屋市立 笠野原小学校

1 学習・体験のねらい

森林・林業の重要性と地域において林業が果たす役割についての学習を通じ、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業や森林を未来に引き継ぐことの意義について理解を深める。

2 学習・体験の位置づけ

社会科，総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①森林のはたらきの学習と伐採現場の見学 ②植樹体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童・生徒	教職員	計
①	令和6年2月28日(水)	9:00～12:00	教室, 現地	5年生	73	3	76
②	同日						
合 計 (延べ人数)					73	3	76

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	バスにて伐採現場へ移動し、立木の伐採作業を見学。人手によるチェーンソーと、高性能林業機械による伐倒を見比べ、違いや特徴を学ぶ。 併せて「森林のはたらきの学習」を実施。樹木、森林、環境、温暖化、SDGsをキーワードに「林業」についての理解を深める。	・足元に注意 ・機械が動く と大きな音が して指示が聞き取りにくい ので注意	振興局 3 林業事業体 5 (森林組合)
②	植樹の体験を通じて、森林を育む必要性や意義、森林環境の大切さや、環境を維持していくことの難しさに気づき、理解を深める。	・苗木も生き物です。大切に扱って！	振興局 3 林業事業体 5 (森林組合)

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	学習用補助資料，ヘルメット，拡声器，貸切大型バス，現場との入念な打合せおよび安全対策	探検バッグ
②	スギコンテナ苗木，植穴掘機（ディブル，ほるほる君，電動掘機），スコップ，ヘルメット，救急箱	

7 ふり返り(担当者の意見，学校へのアンケート結果等から抜粋)

・写真や動画では分からない，新たな気づきがありました。目で見て，音を聞いて，肌で感じとても貴重な経験でした。
・現場で樹木に触れ体感できたので，非常に印象に残りやすかったかと思います。
・教科書では林業の仕組みや仕事内容にしか目を向けませんが，今回たくさんの方の協力を得て，そこで働く人々の姿や「生活をより良くしていきたい」という思いに触れることができよかったです。

(学校の先生からのご意見)

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【森林のはたらきの学習】



【木の直径を測ってみよう】



【木の倒れる様子を見守りました】



【年輪を抜えてみよう】



【林業や機械についての説明】



【高性能林業機械に興味津々】



【こうやって穴をあけて...】



【優しく、しっかりと踏み固めます】

錦江町立 大原小学校

1 学習のねらい

森林・林業における様々な体験活動等を通じて、人々の生活や環境と森林・林業との関係について理解と関心を深めることにより、森林と人とが共生する社会の実現や地域の森林を守る、育てる、活用する意識の醸成を深める。

2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①森林学習、伐採現場・製材工場見学、植樹活動 ②しいたけ駒打ち ③木工教室

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年10月21日(土)	8:45~12:00	現 地	1~6年生	10人	3人	13人
②	令和6年2月2日(金)	13:00~15:00	体育館	1~6年生	10人	3人	13人
③	令和6年2月10日(土)	8:45~10:25	体育館	5~6年生	4人	3人	7人
	合 計	(延べ人数)			24人	9人	33人

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	・町内のスギ伐採現場、地元製材所を見学し、また、伐採地へのスギコンテナ苗の植栽を行い、地域の中で循環する森林・林業の重要性と林業が果たす役割についての学習と体験活動を行った。	・伐採現場での見学場所や林業機械等に注意指導	振興局 3人 森林組合 2人
②	・リーフレットを使用しきのこの生態やしいたけの育て方を学習し、クヌギの原木に種駒の打ち込みを実施。接種した原木は、学校内の木陰をシイタケほだ場として伏せ込みを行った。	・ドリルや金槌等の道具の取扱を注意指導	指導林家 1人 錦江町 1人 振興局 1人
③	・地域産材を利用した木工体験(長椅子)を通じて、木のぬくもりや優しさを感じるとともに、資源としての多様な木材活用を学習した。		振興局 1人

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	資料(リーフレット) ヘルメット、コンテナ苗、ディブル	
②	シイタケ原木・種駒、駒打る用道具(チョーク、尺棒、ドリル、金槌) 資料(リーフレット)	延長コート [※] 、ほだ場の確保
③	長椅子キット、塗料、刷毛等 資料(リーフレット)	

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

・事前の準備・打合せまでとても細やかな配慮をもらった。
・子どもたちの実態に合わせて、当日のスケジュールも臨機応変に対応していただき子どもたちがじつくりと活動を楽しむことができた。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【伐採現場見学（林業機械）】



【森林学習（年輪の確認）】



【製材所見学（オガコの利用）】



【植樹活動（スギコンテナ苗）】



【木工教室（長椅子制作）】



【しいたけ駒打ち】

令和5年度森林環境教育推進事業
大崎町立 中沖小学校

1 学習のねらい

森林・林業における様々な体験活動等を通じて、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深めることにより、森林と人々が共生する社会の実現や地域林業や森林資源を守り育てる意義について理解を深める。

2 学習の位置づけ

社会科

3 森林学習・体験活動の種別

① 製材工場見学

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和6年2月14日(水)	9:30~12:00	製材所(株)	5年生	7人	1人	8人
	合 計	(延べ人数)			7人	1人	8人

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	社会科の「森林と共に生きる」というテーマ学習において、近隣にある製材工場を見学し、木材の加工や用途について学習することで、森林・林業・木材産業に対する理解を深めた。	製材工場内の動線管理	振興局 2人

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	説明用資料、工場内説明用のヘッドセット、移動用バス	冒頭学習場所(教室)の確保

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

- ・普段見ることのできない木材加工現場を実際に見ることができた。
- ・木材加工機械の詳細やチップ製造課程を知りたいなど、児童の興味を深掘りできた。
- ・コロナ禍は工場見学など体験学習が実施できなかったので、有意義な体験であった。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【森林学習（学校にて）】



【製材工場の見学】



【製材機械の見学】



【製材機械の見学】



【加工後の製品】



【木材チップ見学】

令和5年度森林環境教育推進事業

曾於市立 岩南小学校

1 学習のねらい

森林・林業における様々な体験活動等を通じて、人々の生活や環境と森林・林業との関係について理解と関心を深めることにより、森林と人々が共生する社会の実現や地域の森林を守る、育てる、活用する意識の醸成を深める。

2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①森林学習、木工活動 ②製材工場見学 ③しいたけ駒打ち

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年6月21日(水)	8:45~12:15	教室	1~6年生	11人	4人	15人
②	令和5年9月29日(金)	10:00~11:00	製材工場	1~6年生	10人	3人	13人
③	令和6年2月8日(木)	8:45~10:25	渡り廊下	1~6年生	10人	1人	11人
	合 計	(延べ人数)			31人	8人	39人

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	県産材を利用した木工体験を通じて、木のぬくもりや優しさを感じるとともに、資源としての木材がどのようにして作られるのか学習した。	金槌等の道具の取扱を注意指導	振興局 3人
②	地域の大型製材工場を見学し、木材の利活用について学習し、地域における森林・林業・木材産業と自分たちの生活との関係について理解を深めた。	製材工場内の機械や車両に注意	振興局 1人
③	きのこの生態やしいたけの育て方を学習し、クヌギの原木に種駒の打ち込みを実施。接種した原木は、学校内の木陰をシイタケほだ場として伏せ込みを行った。	ドリルや金槌等の道具の取扱を注意指導	振興局 2人

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	資料(リーフレット)、木工工具(金槌等)	
②	資料(リーフレット)	
③	シイタケ原木・種駒、駒打ち用道具(チョーク、尺棒、ドリル、金槌)	延長コート、ほだ場の確保

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

・日程や活動内容を、学校優先で設定していただいた。
 ・木工活動(図工)、製材工場見学(社会)など、教科の学習と関連した体験活動を行うことができた。
 ・森林学習、木工活動を低学年と高学年に分けて実施するなど、各学年の学習進度に応じた対応をしていただいた。
 ・本棚を作って持ち帰ったり、しいたけができるのを楽しみにしたりと、児童の意欲が高まる活動を提案していただいた。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【森林学習（低学年）】



【森林学習（高学年）】



【木工活動（高学年）】



【製材工場見学】



【しいたけ駒打ち】



【しいたけ駒打ち】

令和5年度森林環境教育推進事業
西之表市立 上西小学校

1 学習・体験のねらい

森林と林業に関する教育及び木工体験を行うことにより、木の役割や緑の大切さを学び、林業という職業に対する理解を深めるとともに、郷土を愛し、自然を守り育てる心豊かな子ども達を育てる。

2 学習・体験の位置づけ

総合的学習

3 森林学習・体験活動の種別

①森林学習 ②木工体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年11月16日(木)	9:50~10:30	上西小学校	3~6年生	11	4	15
②	令和5年11月16日(木)	10:30~12:35	上西小学校	3~6年生	11	4	15
合 計 (延べ人数)					22	8	30

5 学習・体験の進め方(スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	「森林や林業について知ろう」(パワーポイント)と「屋久島の林業」(伐採~搬出の動画)を用いて説明を行った。	—	支庁2人
②	杉板から木立てを作り、木の特性や木工の方法を習得した。スギ材の手触り、香り、木の温かみ等を感じ、地元材(種子島スギ)活用への理解を深めた。	鋸など刃物によるけがに注意する	支庁2人

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	森林や林業に関するパワーポイント及び説明資料 屋久島の林業(動画)、パソコン、「熊毛地域の特徴的な森林環境」、「校庭の木を調べよう」	大型ディスプレイ
②	杉板(2種類)、工具セット、木立ての完成品見本	図工室

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

- ・木工体験活動について、時間に余裕がなかった。
- ・森林学習については、4~6年の社会や理科の学習に関連する内容であったが、低学年の児童については内容を検討する必要がある。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【森林学習】



【森林学習】



【森林学習】



【木工体験活動】



【木工体験活動】



【木工体験活動】



【木工体験活動】



【木工体験活動】

令和5年度森林環境教育推進事業
奄美市立 手花部小学校

1 学習・体験のねらい

森林・林業の果たす役割や重要性、奄美群島固有の生物多様性についての学習及び各種体験活動を通して、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業、森林を未来に引き継ぐことの意義について理解を深める。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①木工体験活動 ②自然観察活動 ③しいたけ駒打ち活動

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年6月20日(火)	9:40~11:25	手花部小学校	1~6年生	15	6	21
②	令和5年11月14日(火)	8:45~12:20	奄美自然観察の森	1~6年生	12	5	17
③	令和6年2月7日(水)	9:40~11:25	手花部小学校	1~6年生	15	5	20
合 計 (延べ人数)					42	16	58

5 学習・体験の進め方(スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	かごしま材を使用した木製時計の製作を通して、木の特性や木工等について学習した。	糸鋸盤等による怪我について注意喚起	森林・林業教育指導員 1 大高支庁 2
②	龍郷町にある「奄美自然観察の森」において双眼鏡を使用し、園内の野鳥等を観察した。また、園内の土壌を採取し、土壌生物を観察することにより、生物の多様性について学習した。	ムカデ等による咬傷について注意喚起	奄美市 1 奄美自然観察の森 1 森林技術総合センター 2 大高支庁 1
③	きのこに関するリーフレットできのこの特性や栽培方法等について学習した。また、しいたけの駒打ちを通して、しいたけの原木栽培や森林資源の活用等について学習した。	ドリルや金槌による怪我について注意喚起	森林・林業教育指導員 1 大高支庁 2

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	木製時計一式、糸鋸盤、ボール盤、インパクトドライバー、金槌、差し金、紙やすり、グルーガン、飾り付け用小物、水性マーカー	コードリール
②	マイクロバス(市)、双眼鏡、バット、シャーレ、虫眼鏡、ピンセット、軍手、虫除けスプレー、図鑑	
③	原木、種駒、作業台、ドリル、金槌、皿、チョーク、軍手、リーフレット	コードリール、ブルーシート

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

- ・しいたけ駒打ちを行うのは児童全員が初めてであり、大変貴重な経験となった。
- ・森林環境教育を通して、奄美のことを受け継ぐ人材が出ることを期待している。
- ・実施にあたり、人念な打合せを行っていただき、感謝している。
- ・森林での仕事を将来やってみたい。
- ・森林がどうやってできたか知りたい。
- ・森の中で好きな動物のことを学びたい。
- ・きのこが全部好きなので、キクラゲを育ててみたい。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【① 木工体験活動】



【① 木工体験活動】



【① 木工体験活動】



【② 自然観察活動】



【② 自然観察活動】



【③ しいたけ駒打ち活動】



【③ しいたけ駒打ち活動】



【③ しいたけ駒打ち活動】

高校等の生徒を対象とした森林環境教育 事業実績

1 目的

高校生等を対象に森林環境教育を実施することにより、森林・林業の果たす役割や重要性及び木材の良さなどについて理解を深め、林業・木材産業への就業や木材利用を促進する。

2 学校名 県立加治木工業高等学校

3 日時 令和5年10月25日(水) 9:00～15:30(6時間30分)

4 場所 加治木工業高等学校教室、木材生産(皆伐)現場
原木市場、製材・加工工場現場、木造建築物完成現場

5 対象者 建築科 1年生 40名 教員3名

6 内容

【室内研修】

○森林・林業教育

〔講師:林業専門普及指導員〕

(1)鹿児島県の森林の特徴

(2)森林のはたらき

(3)林業の役割と仕事

(4)森林・林業におけるSDG's

【現地研修】

○木材生産(間伐)現場

〔講師:森林組合 代表〕

○原木市場

〔講師:森林組合 代表〕

○製材・加工工場現場

〔講師:製材会社 代表〕

○木造建築物完成現場

〔講師:住宅建築業 代表〕



7 事業の効果

- ・建築を学ぶ学生たちは、林業によってスギ等が植栽され、多面的機能を発揮しながら育成されている状況が理解でき、森林の働きや林業の重要性に対する認識が深まった。
- ・「林業」という職業について林業の仕事内容や魅力などに対する理解が深まり、将来の担い手となる動機付けができた。

8 改善すべき点

- ・学校の選定を早期に行い、研修の内容を学校側と十分に調整・検討する必要がある。

高校等の生徒を対象とした森林環境教育 事業実績

1 目的

高校生等を対象に森林環境教育を実施することにより、森林・林業の果たす役割や重要性及び木材の良さなどについて理解を深め、林業・木材産業への就業や木材利用を促進する。

2 学校名 県立薩南工業高等学校

3 日時 令和5年11月28日(火) 10:00~12:50(2時間50分)

4 場所 薩南工業高等学校教室、製材・加工工場現場、木材生産（間伐）現場

5 対象者 建築科 1年生 21名 教員2名

6 内容

【室内研修】

○森林・林業教育

〔講師：林業専門普及指導員〕

- (1) 鹿児島県の森林の特徴
- (2) 森林のはたらき
- (3) 林業の役割と仕事
- (4) 森林・林業におけるSDG's

【現地研修】

○製材・加工工場現場

〔講師：製材会社 代表〕

○木材生産（間伐）現場

〔講師：森林組合 代表〕



7 事業の効果

- ・建築を学ぶ学生たちは、林業によってスギ等が植栽され、多面的機能を発揮しながら育成されている状況が理解でき、森林の働きや林業の重要性に対する認識が深まった。
- ・「林業」という職業について林業の仕事内容や魅力などに対する理解が深まり、将来の担い手となる動機付けができた。

8 改善すべき点

- ・学校の選定を早期に行い、研修の内容を学校側と十分に調整・検討する必要がある。

高校等の生徒を対象とした森林環境教育 事業実績

1 目的

高校生等を対象に森林環境教育を実施することにより、森林・林業の果たす役割や重要性及び木材の良さなどについて理解を深め、林業・木材産業への就業や木材利用を促進する。

2 学校名 県立串木野高等学校

3 日時 令和5年12月6日(水) 14:45～15:35(50分)

4 場所 串木野高等学校 体育館

5 対象者 普通科 1～3年生 85名, 教職員20名

6 内容

【室内研修】

○森林・林業教育

〔講師：林業専門普及指導員〕

- (1) 鹿児島県の森林の特徴
- (2) 森林のはたらき
- (3) 林業の役割と仕事
- (4) 森林・林業における SDG's



7 事業の効果

- ・普通科高校の生徒は、林業によってスギ等が植栽され、多面的機能を発揮しながら育成されている状況が理解でき、森林の働きや林業の重要性に対する認識が深まった。
- ・「林業」という職業について林業の仕事内容や魅力などに対する理解が深まり、将来の担い手となる動機付けができた。

8 改善すべき点

- ・今回は現場研修が実施できなかったが、木材生産現場等における現地研修を補完的に実施する必要がある。
- ・学校の選定を早期に行い、研修の内容を学校側と十分に調整・検討する必要がある。

高校等の生徒を対象とした森林環境教育 事業実績

1 目的

高校生等を対象に森林環境教育を実施することにより、森林・林業の果たす役割や重要性及び木材の良さなどについて理解を深め、林業・木材産業への就業や木材利用を促進する。

2 学校名 県立種子島高等学校

3 日時 令和5年11月7日(火) 13:40～16:20(2時間40分)

4 場所 種子島高等学校教室、木材生産(間伐)現場

5 対象者 普通科 1年生 48名
生物生産科 1年生 10名, 2年生 14名, 教職員5名

6 内容

【室内研修】

○森林・林業教育

〔講師:林業専門普及指導員〕

- (1) 鹿児島県の森林の特徴
- (2) 森林のはたらき
- (3) 林業の役割と仕事
- (4) 森林・林業における SDG's

【現地研修】

○木材生産(間伐)現場

〔講師:森林組合 代表〕



7 事業の効果

- ・普通科と生物生産科の生徒は、林業によってスギ等が植栽され、多面的機能を発揮しながら育成されている状況が理解でき、森林の働きや林業の重要性に対する認識が深まった。
- ・「林業」という職業について林業の仕事内容や魅力などに対する理解が深まり、将来の担い手となる動機付けができた。

8 改善すべき点

- ・学校の選定を早期に行い、研修の内容を学校側と十分に調整・検討する必要がある。

森林環境教育推進事業に関する問い合わせ先

小 ・ 中 学 校	鹿児島地域 鹿児島市・日置市・ いちき串木野市・三島村・十島村	鹿児島地域振興局 林務水産課 林務係 〒892-8520 鹿児島市小川町3-56 TEL 099-805-7362 FAX 099-805-7407
	南薩地域 枕崎市・指宿市・南さつま市・ 南九州市	南薩地域振興局 林務水産課 林務係 〒897-0031 南さつま市加世田東本町8-13 TEL 0993-52-1335 FAX 0993-52-1331
	北薩地域 阿久根市・出水市・薩摩川内市・ さつま町・長島町	北薩地域振興局 林務水産課 林務係 〒895-8501 薩摩川内市神田町1-22 TEL 0996-25-5509 FAX 099-25-5670
	始良・伊佐地域 霧島市・伊佐市・始良市・湧水町	始良・伊佐地域振興局 林務水産課 林務水産係 〒899-5212 始良市加治木町諏訪町12 TEL 0995-63-8159 FAX 0995-63-8325 始良・伊佐地域振興局 林務水産課 伊佐市駐在 〒895-2511 伊佐市大口里53-1 TEL 0995-23-5132 (直通) FAX 0995-23-5137
	大隅地域 鹿屋市・垂水市・曾於市・志布志 市・大崎町・東串良町・錦江町・ 南大隅町・肝付町	大隅地域振興局 林務水産課 林務第一係 〒893-0011 鹿屋市打馬二丁目16-6 TEL 0994-52-2161 FAX 0994-52-2166
	熊毛地域 西之表市・中種子町・南種子町・ 屋久島町	熊毛支庁 林務水産課 林務係 〒891-3192 西之表市西之表7590 TEL 0997-22-1133 FAX 0997-22-0474
	大島地域 奄美市・大和村・宇検村・瀬戸内 町・龍郷町・喜界町・徳之島町・ 天城町・伊仙町・和泊町・知名町 ・与論町	大島支庁 林務水産課 林務係 〒894-8501 奄美市名瀬永田町17-3 TEL 0997-57-7285 FAX 0997-57-7290
高 校 等	鹿児島県森林技術総合センター 普及指導部 〒899-5302 始良市蒲生町上久徳182-1 TEL 0995-52-1834 FAX 0995-52-0078	